



とさちょう 高知県土佐町

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

★
高知

「小さな拠点」
づくり

地産地消

子供
(教育・体験)

No.16 いしはらの里協議会

～つどう ふれあう 助け合う いいとこ石原～

まるごと石原よさく市



住民の出資により運営する生活店舗



子供サマースクール

取組経緯

- 過疎高齢化が進むなか、ガソリンスタンド休止、生活店舗の営業縮小などを契機として、地域で安心して暮らしていくための住民によるワークショップを開催。
- 平成24年にいしはらの里協議会を設立。旧石原小学校を拠点に集落活動センターを開所し小さな拠点づくりに挑戦。

取組概要

- 住民出資の「合同会社いしはらの里」を設立し、地域住民が自ら生活店舗・ガソリンスタンド、直販所「やまさとの市」を運営。
- 農産物の直販、加工品の開発・販売、直販イベント『まるごと石原よさく市』の開催。
- 地域での集いの場づくりや、子どもサマースクール、ライトアップイベント等の交流イベントの開催。

取組成果

- 合同会社いしはらの里の売上は、1,655万円から2,528万円に増加(H25～H28)。
- まるごと石原よさく市での売上は、41万円から379万円に増加(H24～H28)。
- 地域内外の交流機会が増えた結果、地域の神祭等への参加者も増え、地域の活気回復に貢献。



高知県三原村

雇用

定住・移住

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島



高知

No.17 公益財団法人三原村農業公社

～目指します！！親・子・孫がゆずで暮らせる三原村！！～

黄玉ユズ JA出荷「1.5kg箱」



ユズの苗木植付け作業



三原村産のユズ商品「ゆず果」

取組経緯

- 村の振興作物「ゆず」の産地化を確立するため、生産量の増加、雇用の拡大、耕作放棄地の解消等を図ることとし、取組の中心として三原農業公社を位置付け。
- 「作業員が一体となって肥培管理に努め、青果中心の栽培を行う」取組を村内のモデル的経営として各農家を支援。

取組概要

- 農業公社が中心となり、ゆず栽培面積を拡大。
- 後継者育成のため、研修生を受け入れ、ゆずやブロッコリー等の栽培技術や農業経営について実践指導。
- 農業所得向上のため、自動選果機を導入し、青果出荷率の向上を図るとともに、加工用ゆずの販路拡大を展開。
- 高齢化ゆず農家の農業支援体制の構築。

取組成果

- 農業公社に新たな雇用(作業員等)が生まれ、職員数が6人から32人に増加(H22～H28)。
- 三原村全体のゆず作付面積は、11haから47haに増加(H22～H28)。
- 共同選果により農業所得向上に繋がる青果出荷率が、1.4%から19.8%に向上(H22～H28)。